

平成29年度 土砂災害防止功労者表彰 一覧

資料2

【個人】

推薦団体	氏名	審査基準	概要
鹿児島県	下川 悦郎 国立大学法人鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授	(7)研究・発明	・氏は、火山地帯における大規模崩壊と大規模土石流の予測、南九州シラス地帯での崩壊機構解明などの砂防に関する多くの研究を実施。特に火山噴火時の降灰や火砕流堆積等に伴う土砂生産・流出に関する研究成果は、全国各地の火山砂防計画検討や火山噴火に伴う緊急調査等に活用されるなど砂防に関する技術の発展に貢献。 ・これまでの研究成果や、専門知識を基に、霧島火山防災連絡会コアメンバー会議など、多くの公的な委員として国や地方公共団体等へ技術的な提言を実施し砂防行政に貢献。
関東地整	阿久津 福共 斉藤建設株式会社	(2)二次災害の防止	・平成27年9月「関東・東北豪雨」において、日光市芹沢地区で土砂災害が発生。同地区の最奥部に位置するウドン沢砂防堰堤工事で監理技術者を務めていた氏は、さらなる土石流等による危険を顧みず、自らが監理技術者を務める溪流以外の5溪流についても、自発的に家屋や道路の被災状況を徒歩で詳細に把握し、通話可能な場所から関係機関へ通報。記録的な雨が降り続き、土石流等により道路や通信設備が被災し孤立した困難な状況のなかでの作業であった。その後も、重機を用いて堆積した土砂や流木の撤去作業を自発的に実施。 ・氏の迅速かつ的確な通報により、関係機関は現地の被災状況を把握することができ、迅速な対応が可能となり、集落の孤立解消や二次災害防止等、地域の早期復旧に貢献。

【団体】

推薦団体	団体名	審査基準	功績
静岡県	丸子荻が谷町自治会 自主防災委員会	(5)砂防施設の美化・清掃	・平成22年12月に静岡県と「砂防サポートプログラム」の合意書を締結して以来、継続して砂防設備やその周辺の草刈り、清掃、点検活動を実施し土砂災害防止施設の維持管理に貢献。 ※地域の土砂災害防止施設の効果や防災思想を学ぶことが出来る「防災ハイキング」や、山腹荒廃を防ぐ為の「防災里山みかん園」を整備し、地域住民のみかん狩りを行う取組等、工夫を取り入れ維持管理活動を実施。また、近年では、夜間における防災訓練や防災マップの全戸配布を行うなど、警戒避難体制の整備に貢献するなど活動の幅を広げている。
鳥取県	鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会	(2)二次災害の防止	・平成28年10月に発生した鳥取県中部地震の際に、震度5強以上が観測された土砂災害危険箇所を鳥取県と連携し緊急点検(砂防ボランティア確認箇所:306箇所、5日間、延べ26人)を実施し、鳥取県の行う二次災害防止活動に貢献。また、住民へ二次災害防止のための注意喚起を迅速に実施。
鳥根県	多根の郷	(4)警戒避難体制の整備	・永年にわたり継続して(前身団体から実施を含め30年以上)防災訓練を実施し、平成22年からは防災講習会を開催。これらの活動を通じて地域住民の土砂災害に対する警戒避難態勢の構築に貢献。 ※独自に自治会単位で世帯別に避難場所を定めたハザードマップを作成したり、緊急時の連絡や避難に活かすため「声かけ組」を組織し、平時から支え合いや信頼醸成を深める取組を実施。また、地区の防災関係者による要配慮者宅周辺の土砂災害危険箇所の点検調査や要配慮者の安否確認を行う体制づくりを推進するなどの工夫を取り入れ活動を実施。
関東地整	沼田市南郷区	(2)被災者支援	・平成28年台風13号に伴う前線豪雨により沼田市利根町柿平地区で未明に発生した土砂災害に際し、同日早朝に南郷集会所を避難所として開設。地元消防団やボランティアと協力し、9月7日から12日まで延べ約100名が住宅周辺に流れ込んだ土砂撤去等の復旧作業に従事。 ・地域ぐるみで被災者への食事の提供(9月7日から13日まで)や支援物資の受領・仕分けを実施。
北陸地整	高山市立栢尾小学校	(3)土砂災害防止思想の普及	・平成9年から継続的に、土砂災害の記憶を風化させないため、被災者の体験談や学識者等による砂防講演を開催し、砂防資料館(奥飛騨さぼろ塾)や砂防施設見学会を実施。また、定期的に学校内での発表会や一般を対象とした砂防講演会(H26)や火山砂防フォーラム(H15)などで学習成果を発表する取組を通じ、若い地域防災力の担い手の育成のみならず地域の土砂災害防止思想の普及に貢献
近畿地整	神戸市立住吉中学校	(3)土砂災害防止思想の普及	・永年にわたり、土砂災害に関する防災学習を実施するとともに、防災マップを利用しながら地域住民への声掛けや避難所の方々の誘導等を行う体験学習を継続的に実施(20年以上) ・平成8年から継続的に土砂災害の専門家からの出前講座を開催。また熊本地震の被災者の体験談や六甲砂防事務所の職員から土砂災害に関する話を聞き、災害時における中学生の役割等をグループ形式で討論・発表を行う「防災・減災に向けたリーダー研修」を開催(H28) ・学習成果を「六甲山フォーラム(H28)」や「六甲山サミット(H27)」等で発表。これらの取組を通じ、若い地域防災力の担い手の育成のみならず土砂災害防止思想の普及に貢献
四国地整	・南小川南岸地域防災推進協議会 ・南小川北岸地域防災推進協議会	(5)砂防施設の美化・清掃	・永年にわたり「たかたび護岸」や「落合床固工」などの砂防設備やその周辺等の草刈り・清掃活動、点検活動を実施し、土砂災害防止施設の維持管理に貢献。(南岸地域防災推進協議会はH9年、北岸地域防災推進協議会はH17年から実施 年2回) ※清掃や点検により得られた情報を基に、関係機関や地域住民との合同現地調査を企画し、荒廃や変状による危険箇所や砂防施設等の老朽化状況等の調査を実施し、得られた情報を関係機関へ提供するなど、維持管理活動に工夫を取り入れ地域の土砂災害の防止に貢献。

表彰式は平成29年6月1日(木)に愛知県豊田市で開催する土砂災害防止「全国の集い」で実施します